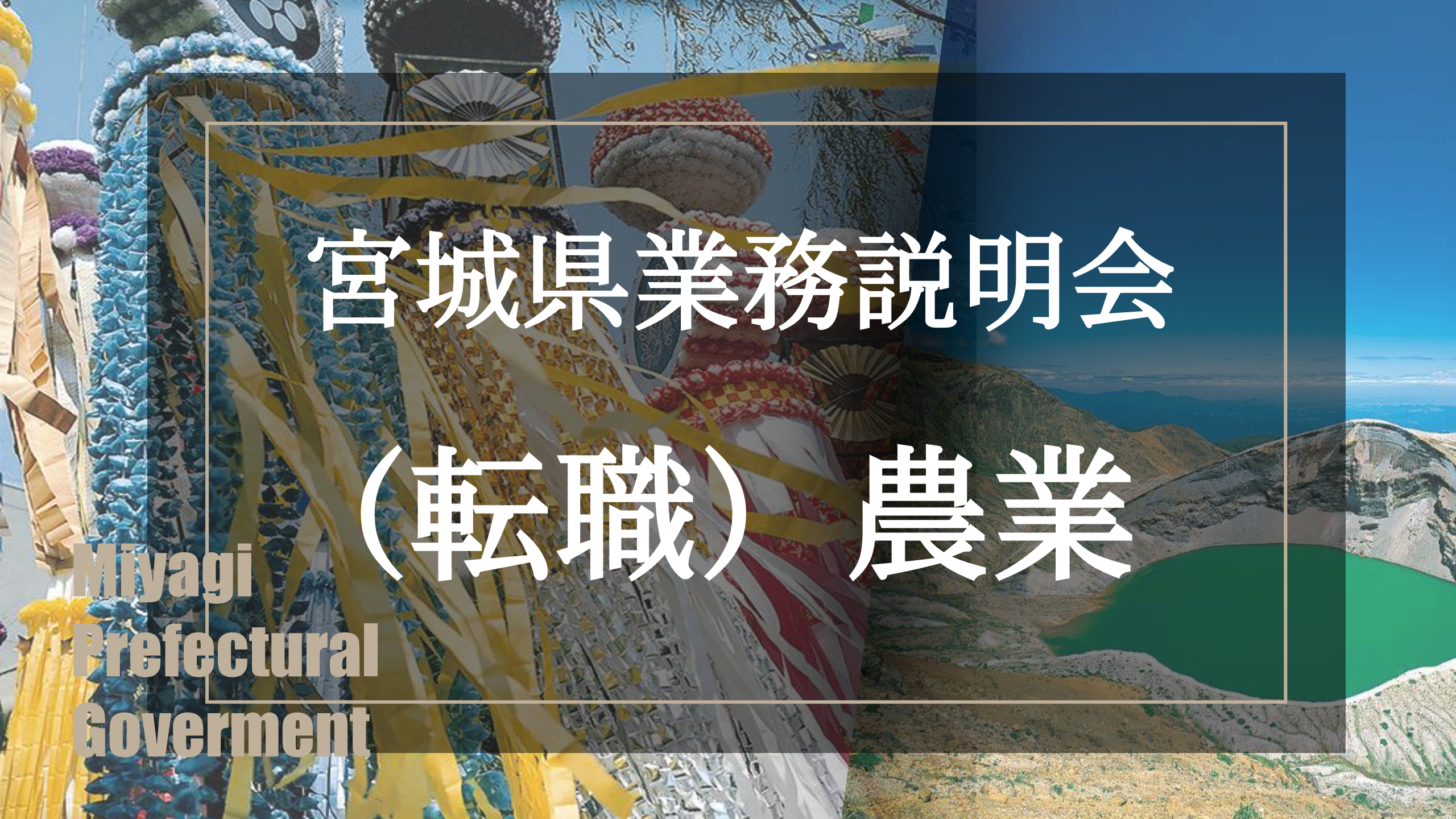




宮城県業務説明会 (転職) 農業

Miyagi
Prefectural
Government

農業職の仕事

水稻・麦・大豆・野菜・花き・果樹などの生産技術や農業経営の普及指導のほか、品種開発、生産性の向上や環境に負荷をかけない栽培技術などの試験研究も行います。

配属先

本庁／農業振興課、みやぎ米推進課、園芸推進課
食産業振興課など

地方機関／古川農業試験場、農業・園芸総合研究所
農業改良普及センターなど

自己紹介

宮城県出身

H21.3月

県内大学卒業

H21.4月～

(民間採用) 種苗会社 総務部人事課

採用、人事制度の運用、労務・給与管理、海外子会社の人事管理

H25.4月～

(県採用) 登米農業改良普及センター

野菜の生産技術や農業経営の普及指導

H28.4月～

農業大学校 水田経営学部

農業後継者の育成

H30.4月～

仙台地方振興事務所 農業農村整備部

農業農村整備事業の計画づくり、震災復興に関わる営農再開・担い手支援

R4.4月～

亘理農業改良普及センター

野菜の生産技術や農業経営の普及指導

R6.4月～

現在

園芸推進課

園芸作物の生産振興、販路拡大や付加価値向上の支援

志望動機

なぜ公務員だった？

- ・食、農業に関わる仕事
- ・仕事を通して学びがある

なんで宮城県庁を選んだ？

- ・地元、復興に関わる仕事
- ・魅力ある食材、資源が豊富

担当した仕事

園芸推進課 流通ビジネス班

- ・ 園芸作物の流通・販売対策
- ・ 販路拡大や付加価値向上の支援
- ・ 市場ニーズを踏まえたビジネス展開の促進



担当業務

- ・ はたけまるごと活用産地形成事業
- ・ 園芸作物の輸出
- ・ 卸売市場対策事業 など



大変だったこと

- ・ 慣れない事務仕事、関係機関との調整
- ・ 生産者、事業者の視点に立った支援
- ・ 経験豊富な生産者から「先生」と呼ばれること
- ・ 災害対応

やりがい、心掛けていること

- ・生産者の挑戦への支援
 - ・産地づくり
-
- ・思いやり
 - ・柔軟性、多様な視点

1日のスケジュール

8:30 出勤 9:00 連絡・調整 10:00 会議 12:00 昼休み

13:00 研修会打合せ 15:00 資料作成 17:15 退勤

働き方・休み方

- ・ 仕事がたまってきたときは
金曜日、休日にストレス発散
- ・ 旅行
(温泉、道の駅、食べ歩き…)



前職とココが違った！ 前職の経験が役に立った！

仕事対象の捉え方が違った

営業対象は種苗店、研究対象は作物の品質

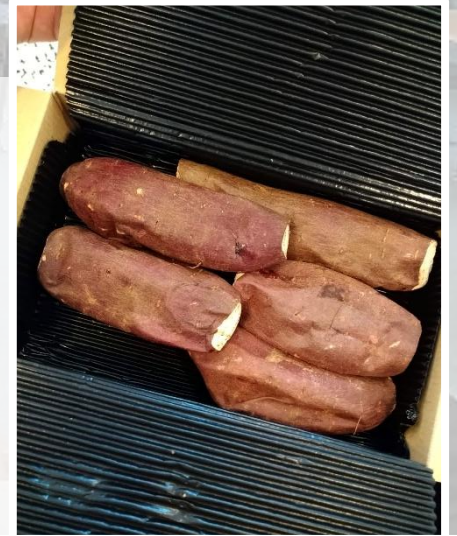
今は生産者の利益が優先

組織運営、視点が役に立った

社会保険制度の仕組み、種苗会社の位置づけなど

職場の雰囲気

- ・ 園芸関係の話題
(いちごの新品種、
美味しい焼いもなど)
- ・ 県内の生産者、法人の話題
- ・ 輸出に関する話題など



働いて感じる宮城県職員の魅力

- ・ 県内を隈なく歩き回れる
- ・ 業務の進め方、広げ方は担当次第
- ・ 公共性（利害関係を省いて対応できる）
- ・ 色々な業務に携われる（農業以外も）

私の公務員試験対策

- ・ 公務員対策問題集
- ・ 農業高校、大学の教科書、参考書
- ・ 最新の農業に関する動向（新聞、雑誌など）
- ・ 自己分析（興味、志向、目標など）

みなさんへのメッセージ

様々な経験が自身の糧となります。

いろんな経験を重ね、自身の方向性を考えながら
自分に合った仕事を見つけてください。